

反歌五首 はんか

一〇五四番

泉川 いづみがは 行く瀬の水の ゆせみづ 絶えばこそ た 大宮所 おほみやところ
うつろひ行かめ

一〇五五番

布当山 ふたぎやま 山並見れば やまなみ 百代にも ももよ 変はるましじき か
大宮所 おほみやところ

一〇五六番

娘子らが をとめ 続麻かくといふ うみを 鹿脊の山 かせ 時し行け とき
れば みやこ 都となりぬ

一〇五七番

鹿脊の山 かせやま 木立を繁み こだち 朝去らず あささ 来鳴きとよも きな
す うぐひすの声 こゑ

一〇五八番

狛山に こまやま 鳴くほととぎす な 泉川 いづみがは 渡りを遠み わた
ここに通はず かよ